電波タイムズ
The Dempa Times

2月15日(金) 月・水・金曜日発行 ※祝日休刊
……平成25年(2013年)……
第6118号

昭和25年6月28日第三種郵便物認可
発行所　株式会社　電波タイムス社
東京都港区新橋5丁目20番1号
電話 03(5473)5050　FAX(5473)5051
大阪支社：支局中部・静岡
URL:http://www.dempa-times.co.jp

<1 面>

APPLIC 過去最大の17社56製品でのシステム相互接続を確認

地域情報プラットフォーム標準仕様で相互接続性を確証

一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）はこのほど、最新の地域情報プラットフォーム標準仕様（APPLIC－0002－2012）に準拠した、異なる企業の製品の相互接続性を検証する相互接続確認イベント第7期を実施した。このイベントにおいて166件の相互接続確認テストを実施し、17社56ユニット製品の相互接続を確認した。

今回のイベントの結果、相互接続確認イベント参加企業数は合計33社、同参加製品総数は187ユニット製品（延べ）となり、個別の製品名等はAPPLICホームページで公開されている。

地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠する製品数が、毎年、大幅に増加している状況にある（平成21年3月末　50ユニット製品、平成22年3月末　115ユニット製品、平成23年3月末　269ユニット製品、平成24年3月末　429ユニット製品）。平成24年度においても増加傾向は一層高まり、平成25年1月末時点では580ユニット製品が登録されており600に迫る状況下にある。

一方、自治体における準拠製品の導入もこれに合わせて増加してきており、平成23年4月には340団体で同標準仕様を活用したシステム再構築に取り組まれている状況である（平成21年4月では95団体、平成22年4月では166団体）（総務省調べ）。

このように、自治体システムが地域プラットフォーム標準仕様に準拠していることがデファクトスタンダードとなりつつある現状を踏まえ、自治体には、システム調達の際に合理的かつ自由度の高い製品選択が可能となるよう、また企業には、イベントへ参加する事でより相互接続性の高い製品の拡充が可能となるよう、APPLICでは地域情報プラットフォーム標準仕様の普及活動を推進しているところである。

今回は、今年度に開発したより詳細な相互接続確認を実施する新テスト（L2テスト）を初めて実施した。今後はこのL2テストを、教育情報アプリケーションユニット製品等へ適応範囲を順次拡大を図るとともに、L2テストの認知度を向上させその有用性を広くアピールしていく。このことを通じて、地域情報プラットフォーム準拠登録・相互接続確認製品の普及を強化していく。